

東大和市の“今”を伝えたい・・・  
市議会議員

2019年4月21日

# 和地ひとみレポート No.313

東大和市 市長選挙・市議会議員選挙…  
新たな顔ぶれで始まる4年間

## ■今回の選挙は…

…4年に1度の市長選挙と市議会議員選挙が終わりました。ご存知の通り、今回の市長選は現職の尾崎やすお氏（尾崎 保夫）と新人のやぎした進氏（柳下 進）の2名の候補での選挙戦の結果、現職の尾崎氏が当選。…市議会議員選挙は、議席数22のところ25名の候補者が立候補し、各候補が自身の政策や考えを訴えての1週間の選挙戦となりました。私にとっては3期目の挑戦となった今回の選挙ですが、今回は私を含めた現職19名の他、新人6名が立候補。全国的に見ると、地方自治体の議員のなり手不足が話題になっている中、新たな候補が出て、市長選挙ならびに市議会選挙が無選挙とならずに行われたことは、東大和市政にとっては良いことだと思えました。しかし、投票率は前回の選挙より市長選は▲2.16、市議選は▲2.89と残念な結果となりました。選挙結果が出る時間については、東大和市は近隣の市よりなぜか結果が出るのが遅いのが定評ですが、毎回、1時過ぎになる最終的な結果については今回は少し早い0時27分に出ました。

## ■私、和地ひとみは…

…私は8年前の最初の選挙の時から、出来る限り、市内の多くの場所で演説をすることを自身の選挙方法の基本としています。選挙カーで、様々訴えることも大切ですが、走行している選挙カーからの音声では、きちんと考えを届けることはなかなか難しいと考えているからです。今回の選挙では、7日間の期間中、132回演説を行わせていただきました。多くの方がいらっしゃる駅や大型小売店などの他、道沿い、公園の近くや住宅地の畑の前などで行った演説ですが、足を止めてお聞きいただいたり、窓辺やベランダでお聞きいただいたりすることもあり、やはり、演説を行うことは大切だと、改めて実感した選挙でした。…今回の選挙で行った演説の内容は下記の通りです。

### 【和地ひとみの今回の選挙戦における演説の要旨】

東大和市の今年度の一般会計予算は310億1100万円。今年度行わなければならない様々な事業が盛り込まれたこの予算ですが、東大和市は今年度、残念ながらこの予算立てのために11億円もの貯金を取り崩さなければなりませんでした。

以前と比較して、東大和市の財政状況は改善されていますが、子育て支援の充実、高齢者などへのサービスの向上、防災対策の強化、学校教育の充実、さらに、老朽化が進んでいる下水道や公共施設に対応する事業など、今後は、より大きな財源が必要となることを考えると、東大和市の財政状況はギリギリといったところだと思います。



東大和市が持続可能な行財政運営を続けるためには何が必要か。私は、多くの現役世代の方に東大和市を選んでいただき、そして住み続けたいと思っていただくことが重要だと考えます。そうなることで、すべての世代の方への行政サービスの充実が図れるからです。しかし、人口減少が進む中、周辺の他の市も工夫をし、行政サービスを向上させ競い合っている時代において、東大和市を選んでもらうにはどうしたら良いか。私はまず、「今住んでいただいている市民の満足度をアップさせること」が必要だと考えています。

そのためには、限られた財源で行う事業については、今まで以上にその効果を厳しくチェックし、また、行政にありがちな、実施すること自体が目的となっているような事業については、きちんと精査することの必要性もますます高まっています。

私は2期8年、東大和市の行政を細かく見てきましたが、その中で感じることは、東大和市には大きな「ポテンシャル」ということです。豊かな自然を活かし、都心のベッドタウンという好立地を活かし、知恵を絞り、工夫をすれば、東大和市はもっともっと成長する、もっともっと輝く市になると私は信じています。

東大和市の明るい未来のために、この先の4年間も私は“ロマンとそろばん”を持ち、行政を細かくチェックし、新しい時代に合った、そして、市民ニーズに合った東大和市の実現に全力で取り組みますので、どうか皆様のご支援、宜しくお願いいたします。

## ■選挙中、考えたこと

…選挙中、他の候補者の主張や選挙公報などを見て、様々なことを考えました。それぞれの候補者の専門分野や所属している党の主張などにより、個別具体的に出されている政策については、基本的には「それが実現できれば良い」と思い、反対するものではありませんでしたが、「そのための財源は？」もしくは「実現させるための裏付けは？」と考えてしまいました。

…また、市議会議員を2期務めさせていただき、実感していることは“市の行財政運営は本当に幅広い分野に及んでいる”ということ。行政に必要な事務を行うことはもちろん、道路や公園を整備し、福祉サービスも提供し、学校教育も充実させ…ありとあらゆる分野のことを行って東大和市の市民生活を支え、向上させていかなければならないのが市政の行財政運営だということです。そして、現在は自治体間競争が激化しているため、その内容で近隣他市と競いあわなければならないという現実もあります。

(裏面に続く)

…昔の行政は、国や都から下りてきた事務事業を、きちんと行うことが重要でしたが、今は、各自治体のオリジナリティを発揮できる領域が大きくなっているため、現代の地方自治体の行財政運営は、より民間企業のような姿勢が求められるようになってきているということです。

…例えば、私たちが日常の買い物をする時には、どうやってお店を選ぶでしょうか。『今日は〇〇が広告の品で安いから、あそこへ行こう』ということや『あその〇〇は品質が良いから、いつもこのお店』『少しの価格差なら全体的に信頼できるから、いつもこのお店』ということもあると思います。このように、買い物をするお店は、ニーズによって日々、変えることはできますが、住む所となると、このように簡単にはニーズによって変えることはできません。

…今回の各候補の個別具体的な政策は、それぞれ良いものだと思いますが、それらが実現しても、東大和市全体が良くなるということとは違うと考えます。市政は専門店というよりは、総合スーパーマーケットのようなもの。目玉商品や一つの品のPRだけでは、長期に渡り信頼して利用してくれるお客様を増やすことが難しい業態と似ています。そして、近隣市と競い合っているところも総合スーパーと近くなっています。

…民間のお店が、多くのお客様にファンになってもらうように、努力や工夫をしているような考え方や姿勢が、今後の市政運営には必要となっています。東大和市の市民生活全体に影響のある市政は、キラリと光る特徴を出すと共に、全体的なクオリティをあげて、長きにわたって信頼していただく総合スーパーのようなものを目指すべきだ…既存事業も新たな取組みも、それぞれが、今まで以上に高いプロ意識をもって、内容を高めることが、東大和市の明るい将来につながり、住んでいてよかった、住みたいまちの実現のためには必要だと今回の選挙で、私は改めて感じました。

## ■この先の4年間も

…多くの皆様のご支援により、再び、市議会議員として務めさせていただくことになったこの先の4年間も、私は、顔の見える議員、身近な議員、市民目線で行政をチェックする議員として、これまでと変わりなく活動を続けていく所存です。

…もちろん、日常的に市政をお伝えするレポートの作成、配布も続けます。一方で、3期目となるこの4年間は今まで以上に、議員としての経験と知識を活かした提言を市にはしていかなければと気持ちも新たにしています。

…民間での経験と議員としての経験を携え、東大和市の発展のための一助となるよう、今期も全力で取組みますので、ぜひとも、お気軽にご意見など、お声がけください。

## 【今回の選挙の結果】

### ◆市長選挙(23:06 確定)

当日有権者数:69,917人  
投票者数:33,620人 ⇒投票率 48.09  
無効票:785

立候補者氏名	得票数
尾崎 やすお	19,453
やぎした 進	13,381

### ◆市議会議員選挙(0:27 確定)

当日有権者数:69,917人  
投票者数:33,625人 ⇒投票率 48.09  
無効票:701

#### 【得票数順】

当落	立候補者氏名	得票数	党派名
当	はちすか かずまさ	2,572	自民党公認
当	尾崎 りいち	2,191	共産党
当	じつかわ 圭子	1,883	生活者ネット
当	東口 まさみ	1,859	公明党
当	あらはた 伸一	1,847	公明党
当	中村 庄一郎	1,749	自民党公認
当	きどおか 秀彦	1,739	公明党
当	なかま 建二	1,696	公明党
当	二宮 よしこ	1,684	立憲民主
当	佐竹 やすひこ	1,583	公明党
当	上林 まさえ	1,573	共産党
当	和地 ひとみ	1,525	無所属
当	森田 真一	1,434.835	共産党
当	とこなべ よしひろ	1,141	無所属
当	だいが はるお	1,138	立憲民主
当	中野 しのぶ	1,123	無所属
当	関田 みつぐ	985.599	無所属
当・新	木下 とみお	976	自民党推薦
当・新	森田 ひろゆき	939.164	自民党推薦
当	関田 まさたみ	863.400	無所属
当	根岸 としひこ	848	自民党推薦
当・新	大川 はじめ	637	無所属
落・新	井上 かずひこ	450	自民党推薦
落・新	藤原 けい子	408	無所属
落・新	やまうち 章明	79	無所属

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元氣印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『「学校」の外の一般社会で挑戦しよう』とベンチャー企業の(株)シートナーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経 WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp)

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102